

2019年度

決 算 説 明 資 料

株式会社 大 光 銀 行

【目 次】

I. 2019年度決算の概況			
1. 損益状況	単	(1)
	連	(2)
2. 業務純益	単	(3)
3. 主要勘定残高	—	(3)
(1) 未残	単	(3)
(2) 平残	単	(3)
4. 利鞘	—	(4)
(1) 全店分	単	(4)
(2) 国内業務部門分	単	(4)
5. ROE	単	(5)
6. 有価証券関係損益	単	(5)
7. 自己資本比率(国内基準)	単・連	(6)
II. 貸出金等の状況			
1. 金融再生法開示債権	単	(7)
2. 金融再生法開示債権の保全状況	単	(7)
3. リスク管理債権の状況	単・連	(8)
4. 貸倒引当金等の状況	単・連	(9)
5. 自己査定状況	単	(10)
6. 自己査定・保全の状況と開示債権	単	(10)
7. 業種別貸出状況等	—	(11)
(1) 業種別貸出金	単	(11)
(2) 業種別リスク管理債権	単	(11)
(3) 消費者ローン残高	単	(12)
(4) 中小企業等貸出比率	単	(12)
8. 預金等、貸出金の残高	—	(13)
(1) 未残	単	(13)
(2) 平残	単	(13)
9. 預り資産(未残)の状況	単	(13)
III. 有価証券の評価損益			
1. 有価証券の評価基準	単・連	(14)
2. 評価損益	単・連	(14)

(注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 「2019年度決算の概況」以下の2019年3月期比、2019年3月末比欄等の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。

I. 2019年度決算の概況

1. 損益状況

【単体】

●コア業務純益は、資金利益が減少したことなどにより、前年同期比6億37百万円減少の26億63百万円となりました。また、投資信託解約損益を除くコア業務純益は、前年同期比9億30百万円減少の16億43百万円となりました。
●実質業務純益は、前年同期比14億56百万円減少の21億57百万円となりました。
●経常利益は、実質与信関係費用が増加したことなどにより、前年同期比12億55百万円減少の25億87百万円となりました。
●当期純利益は、前年同期比14億1百万円減少の11億31百万円となりました。

(単位：百万円)

	2020年3月期		2019年3月期
		2019年3月期比	
業務粗利益	15,117	△1,427	16,544
(コア業務粗利益)	(15,624)	(△606)	(16,230)
国内業務粗利益	14,741	△1,260	16,001
資金利益	14,645	△335	14,980
役務取引等利益	610	△63	673
その他業務利益	△514	△861	347
(うち国債等債券関係損益)	(△506)	(△819)	(313)
国際業務粗利益	376	△166	542
資金利益	359	△159	518
役務取引等利益	3	△0	3
その他業務利益	12	△8	20
(うち国債等債券関係損益)	(-)	(-)	(-)
経費(除く臨時処理分)	12,960	30	12,930
人件費	7,077	33	7,044
物件費	5,078	35	5,043
税金	804	△37	841
実質業務純益	2,157	△1,456	3,613
コア業務純益	2,663	△637	3,300
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	1,643	△930	2,573
① 一般貸倒引当金繰入額	233	233	-
業務純益	1,924	△1,689	3,613
うち国債等債券関係損益	△506	△819	313
臨時損益	662	434	228
② 不良債権処理額	1,560	1,119	441
貸出金償却	1,353	916	437
個別貸倒引当金繰入額	191	191	-
偶発損失引当金繰入額	-	-	-
債権等売却損	15	12	3
(貸倒償却引当費用①+②)	1,794	1,353	441
株式等関係損益	2,105	1,267	838
③ 貸倒引当金戻入益	-	△87	87
④ 偶発損失引当金戻入益	1	△39	40
⑤ 償却債権取立益	198	△1	199
その他臨時損益	△81	414	△495
経常利益	2,587	△1,255	3,842
特別損益	△325	△137	△188
固定資産処分益	9	8	1
固定資産処分損	76	74	2
減損損失	257	70	187
税引前当期純利益	2,262	△1,391	3,653
法人税、住民税及び事業税	1,124	185	939
法人税等調整額	6	△175	181
法人税等合計	1,131	10	1,121
当期純利益	1,131	△1,401	2,532
(参考)実質与信関係費用(①+②-③-④-⑤)	1,594	1,481	113

(注) 1. コア業務粗利益=業務粗利益-国債等債券関係損益

2. コア業務純益=業務純益-国債等債券関係損益+一般貸倒引当金繰入額

【連結】

<連結損益計算書ベース>

●親会社株主に帰属する当期純利益は、単体の業績を主因として前年同期比14億32百万円減少の11億47百万円となりました。

(単位：百万円)

	2020年3月期	2019年3月期比	2019年3月期
	連結粗利益	15,320	△1,414
資金利益	15,028	△495	15,523
役務取引等利益	696	△51	747
その他業務利益	△404	△868	464
営業経費	13,066	△137	13,203
① 貸倒償却引当費用	1,835	1,394	441
貸出金償却	1,356	919	437
個別貸倒引当金繰入額	224	224	—
一般貸倒引当金繰入額	238	238	—
偶発損失引当金繰入額	—	—	—
債権等売却損	15	12	3
株式等関係損益	2,105	1,267	838
② 貸倒引当金戻入益	—	△72	72
③ 偶発損失引当金戻入益	1	△39	40
④ 償却債権取立益	198	△1	199
持分法による投資損益	8	△27	35
その他経常損益	△96	237	△333
経常利益	2,635	△1,307	3,942
特別損益	△325	△137	△188
税金等調整前当期純利益	2,310	△1,444	3,754
法人税、住民税及び事業税	1,141	181	960
法人税等調整額	3	△181	184
法人税等合計	1,144	△1	1,145
当期純利益	1,165	△1,444	2,609
非支配株主に帰属する当期純利益	18	△11	29
親会社株主に帰属する当期純利益	1,147	△1,432	2,579
(参考) 実質与信関係費用 (①-②-③-④)	1,635	1,507	128

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

(参考)

(単位：百万円)

連結業務純益	2,001	△1,692	3,693
--------	-------	--------	-------

(注) 連結業務純益 = 単体業務純益 + 子会社業務純益 (勘定修正) - 内部取引

(連結対象会社数)

(社)

連結子会社数	1	—	1
持分法適用会社数	1	—	1

2. 業務純益【単体】

（単位：百万円）

	2020年3月期	2019年3月期比	2019年3月期
	(1) 実質業務純益	2,157	△1,456
職員一人当たり（千円）	2,446	△1,702	4,148
(2) コア業務純益	2,663	△637	3,300
職員一人当たり（千円）	3,020	△768	3,788
(3) 業務純益	1,924	△1,689	3,613
職員一人当たり（千円）	2,181	△1,967	4,148

（注）1. コア業務純益＝業務純益－国債等債券関係損益＋一般貸倒引当金繰入額

2. 職員数は、期中平均人員（出向者を除く）で計算しております。

3. 主要勘定残高【単体】

(1) 未残

（単位：百万円）

	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
	資金運用勘定残高	1,412,665	1,694
うち貸出金	1,060,135	9,923	1,050,212
うち有価証券	346,379	△7,027	353,406
資金調達勘定残高	1,442,585	6,156	1,436,429
うち預金	1,322,569	15,922	1,306,647
うち譲渡性預金	40,443	△25,791	66,234
うち借入金	50,200	13,800	36,400
うちコールマネー	652	42	610

(2) 平残

（単位：百万円）

	2020年3月期	2019年3月期比	2019年3月期
	資金運用勘定残高	1,395,177	19,505
うち貸出金	1,033,328	17,484	1,015,844
うち有価証券	354,269	3,450	350,819
資金調達勘定残高	1,446,775	49,746	1,397,029
うち預金	1,310,725	18,492	1,292,233
うち譲渡性預金	40,872	△11,406	52,278
うち借入金	47,221	15,111	32,110
うちコールマネー	726	60	666

4. 利鞘【単体】

(1) 全店分

(単位：%)

	2020年3月期		2019年3月期
		2019年3月期比	
資金運用利回 (A)	1.10	△0.06	1.16
貸出金利回 (B)	1.07	△0.07	1.14
有価証券利回	1.19	△0.03	1.22
資金調達利回 (C)	0.03	△0.00	0.03
預金等利回	0.03	△0.00	0.03
外部負債利回	0.02	△0.01	0.03
預金等原価 (D)	0.95	△0.02	0.97
資金調達原価 (E)	0.92	△0.04	0.96
資金運用調達利回差 (A) - (C)	1.07	△0.05	1.12
預貸金利鞘 (B) - (D)	0.12	△0.04	0.16
総資金利鞘 (A) - (E)	0.18	△0.02	0.20

(2) 国内業務部門分

(単位：%)

	2020年3月期		2019年3月期
		2019年3月期比	
資金運用利回 (A)	1.08	△0.04	1.12
貸出金利回 (B)	1.08	△0.06	1.14
有価証券利回	1.19	0.02	1.17
資金調達利回 (C)	0.03	△0.00	0.03
預金等利回	0.03	△0.00	0.03
外部負債利回	0.00	0.00	0.00
預金等原価 (D)	0.95	△0.02	0.97
資金調達原価 (E)	0.92	△0.03	0.95
資金運用調達利回差 (A) - (C)	1.05	△0.04	1.09
預貸金利鞘 (B) - (D)	0.12	△0.05	0.17
総資金利鞘 (A) - (E)	0.15	△0.01	0.16

5. ROE【単体】

(単位：%)

	2020年3月期		2019年3月期
		2019年3月期比	
コア業務純益ベース	3.46	△0.60	4.06
実質業務純益ベース	2.80	△1.64	4.44
業務純益ベース	2.50	△1.94	4.44
経常利益ベース	3.36	△1.37	4.73
当期純利益ベース	1.47	△1.64	3.11

(注) 分母となる自己資本平均残高は、{(期首純資産－期首新株予約権) + (期末純資産－期末新株予約権)} ÷ 2で算出しております。

6. 有価証券関係損益【単体】

(単位：百万円)

	2020年3月期		2019年3月期
		2019年3月期比	
国債等債券関係損益(5勘定戻)	△506	△819	313
売却益	1,901	576	1,325
償還益	—	—	—
売却損	70	△86	156
償還損	1,412	557	855
償却	924	924	—
株式等関係損益(3勘定戻)	2,105	1,267	838
売却益	2,475	704	1,771
売却損	245	△539	784
償却	124	△24	148

7. 自己資本比率（国内基準）

自己資本比率（国内基準）は、銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行が保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（2006年金融庁告示第19号）に基づき算出しております。

●2020年3月末の自己資本比率（国内基準）〔速報値〕は、単体が8.83%、連結が8.84%となりました。いずれも規制値（4%）を大きく上回り、十分な水準を維持しております。

【単体】

（単位：百万円）

	〔速報値〕 2020年3月末		2019年3月末
		2019年3月末比	
(1) 自己資本比率 (2)／(3)	8.83%	△0.07%	8.90%
(2) 自己資本 ①－②	70,542	183	70,359
コア資本に係る基礎項目 ①	72,265	778	71,487
コア資本に係る調整項目 ②	1,723	595	1,128
(3) リスク・アセット	798,880	8,594	790,286
(4) 総所要自己資本額 (3)×4%	31,955	344	31,611

【連結】

（単位：百万円）

	〔速報値〕 2020年3月末		2019年3月末
		2019年3月末比	
(1) 自己資本比率 (2)／(3)	8.84%	△0.08%	8.92%
(2) 自己資本 ①－②	70,833	116	70,717
コア資本に係る基礎項目 ①	72,023	274	71,749
コア資本に係る調整項目 ②	1,189	157	1,032
(3) リスク・アセット	801,269	8,811	792,458
(4) 総所要自己資本額 (3)×4%	32,050	352	31,698

II. 貸出金等の状況

- ・未収利息不計上基準

自己査定で「破綻先」「実質破綻先」及び「破綻懸念先」に分類した債務者は、未収利息をすべて収益不計上として開示しております。

1. 金融再生法開示債権【単体】

(単位：百万円)

		2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
金融再生法開示債権	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,026	△470	4,496
	破綻先債権	577	76	501
	実質破綻先債権	3,449	△545	3,994
	危険債権	14,500	△503	15,003
	要管理債権	174	△163	337
	小計(A)	18,700	△1,137	19,837
	正常債権	1,053,364	13,149	1,040,215
	債権額合計	1,072,065	12,013	1,060,052

(単位：%)

		2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
債権残高構成比	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.38	△0.04	0.42
	破綻先債権	0.05	0.00	0.05
	実質破綻先債権	0.32	△0.06	0.38
	危険債権	1.35	△0.07	1.42
	要管理債権	0.02	△0.01	0.03
	小計	1.74	△0.13	1.87
	正常債権	98.26	0.13	98.13
	債権額合計	100.00	—	100.00

2. 金融再生法開示債権の保全状況【単体】

(単位：百万円)

		2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
保全額(B)		14,972	△1,439	16,411
貸倒引当金		2,976	4	2,972
担保保証等		11,995	△1,444	13,439

(単位：%)

保全率(B) / (A)	80.06	△2.67	82.73
--------------	-------	-------	-------

3. リスク管理債権の状況

【単体】

(単位：百万円)

		2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
リスク管理債権	破綻先債権額	573	83	490
	延滞債権額	17,788	△1,048	18,836
	3カ月以上延滞債権額	73	37	36
	貸出条件緩和債権額	101	△199	300
	合計	18,536	△1,127	19,663
(部分直接償却額)		(3,705)	(364)	(3,341)
貸出金残高(未残)		1,060,135	9,923	1,050,212

(単位：%)

貸出金残高比	破綻先債権額	0.05	0.00	0.05
	延滞債権額	1.68	△0.11	1.79
	3カ月以上延滞債権額	0.00	0.00	0.00
	貸出条件緩和債権額	0.01	△0.02	0.03
	合計	1.75	△0.12	1.87

【連結】

(単位：百万円)

		2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
リスク管理債権	破綻先債権額	579	80	499
	延滞債権額	17,790	△1,047	18,837
	3カ月以上延滞債権額	74	37	37
	貸出条件緩和債権額	101	△199	300
	合計	18,546	△1,129	19,675
(部分直接償却額)		(3,705)	(364)	(3,341)
貸出金残高(未残)		1,059,802	9,858	1,049,944

(単位：%)

貸出金残高比	破綻先債権額	0.05	0.00	0.05
	延滞債権額	1.68	△0.11	1.79
	3カ月以上延滞債権額	0.01	0.01	0.00
	貸出条件緩和債権額	0.01	△0.02	0.03
	合計	1.75	△0.12	1.87

4. 貸倒引当金等の状況

【単体】

(単位：百万円)

	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
	貸倒引当金	4,560	249
一般貸倒引当金	1,558	233	1,325
個別貸倒引当金	3,002	16	2,986

【連結】

(単位：百万円)

	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
	貸倒引当金	4,699	257
一般貸倒引当金	1,625	238	1,387
個別貸倒引当金	3,074	19	3,055

5. 自己査定状況【単体】

(単位：百万円)

債務者区分		分類状況				
		債権残高	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
破綻先		577	437 (139)	139	— (9)	— (289)
実質破綻先		3,449	2,185 (1,157)	1,263	— (272)	— (755)
破綻懸念先		14,500	8,429 (6,785)	2,409	3,660 (5,304)	—
要 注 意 先	要管理先	208	72	136	—	—
	その他の要注意先	101,336	33,708	67,628	—	—
正常先		951,993	951,993	—	—	—
合計		1,072,065	996,827	71,577	3,660	—

- (注) 1. ()内は引当前の分類金額
 2. 部分直接償却額 3,705百万円処理後の計数

6. 自己査定・保全の状況と開示債権【単体】

(単位：百万円)

自己査定と保全の状況					金融再生法開示債権		リスク管理債権		
債務者区分	残高	保全額	引当金	保全率	区分	残高	区分	残高	
破綻先	577	278	298	100.00%	破産更生等債権	4,026	破綻先債権	573	
実質破綻先	3,449	2,420	1,028	100.00%			延滞債権	17,788	
破綻懸念先	14,500	9,195	1,644	74.75%	危険債権	14,500	3カ月以上延滞債権	73	
要 注 意 先	(うち要管理債権)	(174)	(100)	(5)	(61.14%)	要管理債権	174	貸出条件緩和債権	101
	要管理先	208	133	5	67.13%			小計	18,700
	その他の要注意先	101,336				正常債権	1,053,364		
	正常先	951,993							
	合計	1,072,065				合計	1,072,065		

7. 業種別貸出状況等

(1) 業種別貸出金【単体】

(単位：百万円)

業種	2020年3月末	2019年3月末	
		2019年3月末比	2019年3月末
国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	1,060,135	9,923	1,050,212
製造業	85,292	3,815	81,477
農業, 林業	6,553	422	6,131
漁業	424	62	362
鉱業, 採石業, 砂利採取業	1,326	104	1,222
建設業	53,529	1,135	52,394
電気・ガス・熱供給・水道業	7,844	522	7,322
情報通信業	4,142	△93	4,235
運輸業, 郵便業	19,956	136	19,820
卸売業, 小売業	69,643	△4,069	73,712
金融業, 保険業	90,501	△5,228	95,729
不動産業, 物品賃貸業	157,110	△696	157,806
サービス業等	93,943	△51	93,994
地方公共団体	140,694	3,105	137,589
その他	329,171	10,760	318,411

(2) 業種別リスク管理債権【単体】

(単位：百万円)

業種	2020年3月末	2019年3月末	
		2019年3月末比	2019年3月末
国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	18,536	△1,127	19,663
製造業	2,521	114	2,407
農業, 林業	64	△27	91
漁業	—	—	—
鉱業, 採石業, 砂利採取業	134	△1	135
建設業	2,466	△511	2,977
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—
情報通信業	471	425	46
運輸業, 郵便業	415	△87	502
卸売業, 小売業	3,146	△310	3,456
金融業, 保険業	0	△0	0
不動産業, 物品賃貸業	1,074	57	1,017
サービス業等	4,082	△474	4,556
地方公共団体	—	—	—
その他	4,157	△314	4,471

(3) 消費者ローン残高【単体】

(単位：百万円)

	2020年3月末		2019年3月末
		2019年3月末比	
消費者ローン残高	314,941	12,502	302,439
うち住宅ローン残高	293,129	12,212	280,917
うちその他ローン残高	21,811	289	21,522

(4) 中小企業等貸出比率【単体】

(単位：%)

	2020年3月末		2019年3月末
		2019年3月末比	
中小企業等貸出比率	76.08	△0.22	76.30

8. 預金等、貸出金の残高【単体】

- 預金等（預金＋譲渡性預金）の残高は、公金預金の減少などにより、2019年3月末比98億69百万円減少し、1兆3,630億13百万円となりました。
- 貸出金の残高は、住宅ローンを中心に消費者ローンが増加したことなどにより、2019年3月末比99億23百万円増加し、1兆601億35百万円となりました。

(1) 末残

(単位：百万円)

	2020年3月末		2019年3月末
		2019年3月末比	
預金等（預金＋譲渡性預金）	1,363,013	△9,869	1,372,882
うち新潟県内	1,203,600	△9,469	1,213,069
貸出金	1,060,135	9,923	1,050,212
うち新潟県内	718,849	14,950	703,899

(2) 平残

(単位：百万円)

	2020年3月末		2019年3月末
		2019年3月期比	
預金等（預金＋譲渡性預金）	1,351,598	7,087	1,344,511
うち新潟県内	1,207,852	4,291	1,203,561
貸出金	1,033,328	17,484	1,015,844
うち新潟県内	693,406	15,545	677,861

9. 預り資産（末残）の状況【単体】

- 預り資産の残高は、保険が順調に増加しましたが、全体では2019年3月末比29億36百万円減少し、1,303億76百万円となりました。

(単位：百万円)

	2020年3月末		2019年3月末
		2019年3月末比	
預り資産	130,376	△2,936	133,312
投資信託	34,459	△5,740	40,199
公共債	12,725	△1,849	14,574
保険	83,191	4,653	78,538

Ⅲ. 有価証券の評価損益

●有価証券全体の評価損益は、単体・連結ともに3億67百万円となりました。

1. 有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法(評価差額を損益処理)	
満期保有目的有価証券	償却原価法(定額法)	
その他有価証券	時価のあるもの	時価法(評価差額を全部純資産直入法処理)
	時価を把握することが極めて困難と認められるもの	原価法
子会社株式及び関連会社株式	原価法	

(注) 単体・連結ともに同一の基準であります。

2. 評価損益

【単体】

(単位:百万円)

	2020年3月末				2019年3月末		
	評価損益	2019年3月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	△76	△34	4	81	△42	7	50
その他有価証券	444	△12,317	8,778	8,333	12,761	16,047	3,285
株式	3,410	△1,126	3,587	176	4,536	4,577	40
債券	2,165	△2,468	2,764	598	4,633	4,635	2
その他	△5,131	△8,723	2,427	7,558	3,592	6,834	3,241
合計	367	△12,352	8,783	8,415	12,719	16,055	3,335
株式	3,410	△1,126	3,587	176	4,536	4,577	40
債券	2,088	△2,502	2,768	679	4,590	4,643	52
その他	△5,131	△8,723	2,427	7,558	3,592	6,834	3,241

(注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、貸借対照表計上額と取得価額(又は償却原価)との差額を計上しております。

2. 「その他有価証券」の評価については決算日の市場価格等に基づいております。

3. 2020年3月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は、403百万円であります。

【連結】

(単位:百万円)

	2020年3月末				2019年3月末		
	評価損益	2019年3月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	△76	△34	4	81	△42	7	50
その他有価証券	444	△12,317	8,778	8,333	12,761	16,047	3,285
株式	3,410	△1,126	3,587	176	4,536	4,577	40
債券	2,165	△2,468	2,764	598	4,633	4,635	2
その他	△5,131	△8,723	2,427	7,558	3,592	6,834	3,241
合計	367	△12,352	8,783	8,415	12,719	16,055	3,335
株式	3,410	△1,126	3,587	176	4,536	4,577	40
債券	2,088	△2,502	2,768	679	4,590	4,643	52
その他	△5,131	△8,723	2,427	7,558	3,592	6,834	3,241

(注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、連結貸借対照表計上額と取得価額(又は償却原価)との差額を計上しております。

2. 「その他有価証券」の評価については連結決算日の市場価格等に基づいております。

3. 2020年3月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は、403百万円であります。